

総合科学入門講座

レポートの書き方 & 課題発表

6月2日

レポートの書き方教室

この授業の二つの目標

- 論理的思考力の養成
＝理由や根拠を示して主張する。
- 物事の多面的理解
＝複数の立場(とくに反対の立場)を考慮して、妥当な結論を出す。
- ◆ 民主的な社会を担う市民として、合理的な判断力と合意形成能力を身につける。
 - －『コピペと言われない...』あとがきを参照。
 - －後期には「課題発見ゼミナール」で、少人数でさらに練習を重ねる。

来週は、ガイダンス。
希望調査は2週間後なので、その間に、
「単に自分がやりたいこと」でなく、「**自分が身につけなければならないこと**」
を身につけさせてくれるような授業はどれ
かをよく考えて選択するように。

- ◆ 民主的な社会を築く市民として、合理的な判断力と合意形成能力を身につける。
 - 『コピペと言われぬ』あとがきを参照。
 - 後期には「課題発見ゼミナール」で、少人数でさらに練習を重ねる。

レポートの受付と提出方法

- 今日示した四つの課題のうち、**一つを選んで**解答すること。
- 受付期間：6月16日（金）12:00～6月19日（月）17:00
- 提出方法：manabaのレポート提出機能を用いて提出する。

レポートの作成

- 授業ウェブページより、自分が選択した課題をクリックする。
- 「名前を付けて保存」を選択。
- ファイル名の末尾に自分の名前を付け、保存する。
 - 例: 2017report_hirai.docx
 - ⇒ 2017report_hirai山口裕之.docx
- ファイルを開いて、ワードでレポートを作成する。
 - 書き進めれば、欄は伸びます (A4で2~3枚ぐらい標準)。
 - 『コピペと言われないレポートの書き方教室』末尾の「書き方チェックリスト」を参考にする。
 - 提出前には、「できばえチェックリスト」を参照する。

レポートの提出

- manaba⇒レポート⇒自分が選択したレポート課題
- 「ファイルを選択」のところに、自分のパソコンのフォルダないしファイル名が表示されるので、自分のレポートのファイル名を表示させ、「ファイルを添付」をクリック。
- 送信する。

書き方は、基本的にこれまでの
メールコメントと同様。

『コピペ本』p.89

やってはいけないことチェック

- 「思う」「感じる」「気がする」「印象を持った」「考える」⇒これらを消して理由や根拠を書く。
- 「～と言われている」「～だそうだ」「～と聞いたことがある」⇒出典を確認する。
- 「ある程度」「いろいろ・さまざま」「本来の意味での○○」⇒具体的に説明する。

信用できる情報を得る(27頁)

- 匿名・仮名のページは引用しない。
 - 本名であれば、肩書を検索。
 - ウェブサイトに出典が明示されているか？
 - 出典が明示されていれば、その出典の方を入手して読む。
 - 自分が調べた情報内容の信憑性を、複数の情報源によって確認する
- ★ウェブを検索することを「きっかけ」にして、
文献(書物や論文)を読むことが重要。

文章の書き方：接続詞を入れる(66頁)

- 主語、目的語(～を、～に)-述語。接続詞、主語、目的語-述語。

のように**文は短く切り、間に接続詞を入れる。**

- 基本の接続詞は四種類(たとえば、しかし、それゆえ、つまり)。

ダメな結論一覧(抜粋)

- 「難しい問題なので、真剣に考えなければならぬ」
- 「各人が自分なりに考えて結論を出すことが必要だ」
- 「しっかり学ぶことが重要だ」、「よく知らなければならぬ」
- 「何事も疑ってみることが必要だ」
- 「マスコミの情報を鵜呑みにせず、」
- 「結局、人間のやることなので限界がある」

レポート用紙の項目を埋めていけば、
反対の立場を考慮して検討するようになってい
ます。

- 反対の立場との議論がかみ合うように。

◆悪い例

- 原子力発電に賛成の立場として、電気代が安い、
二酸化炭素が出ない。
- 反対の立場として、放射性廃棄物の処理のめど
が立たない。
- これらの立場を比較して、ぼくは反対だ。

レポートを書く手順

- ① 課題を一つ選ぶ。
- ② 関連する複数の文献を調べる。
- ③ 構成を立てる。
 - A) 構成の中で、足りない部分を自覚する。
 - B) ②に戻って、「自分の主張は誰が見ても正しいと思うはずだ」と確信できるまで構成を練り直す。
- ④ 書いてみる。
 - A) 読み直して、足りない部分を自覚する。
 - B) ②に戻って、「自分の主張は誰が読んでも正しいと思うはずだ」と確信できるまで書き直す。

何度も読み直して書き直すことが重要！

考える＝調べ、知り、書き、書き直す。

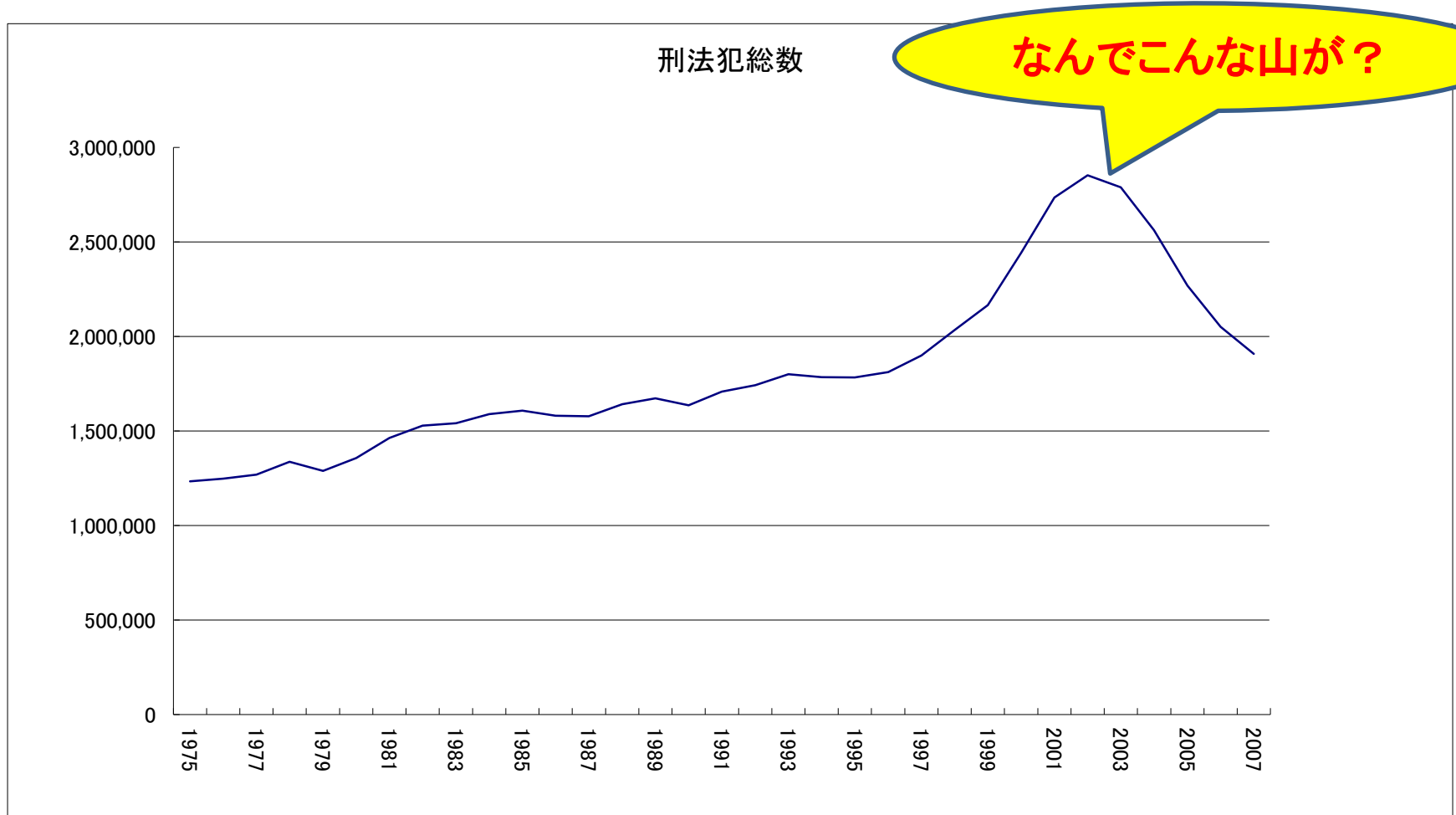
そこで、今日のmanabaのコメントは、

- 自分を取り組みたいレポート課題について、現時点での構想やすでに調べたこと、調べなければならないことなどをまとめる。
- 来週、できるかぎりフィードバックしますので、それも参考にしてレポートを作成する。

担当者各位による
レポート課題の説明

山口の課題

5月19日のイントロで示したグラフ



警察庁犯罪統計より

課題

- グラフにこんな山ができた理由を考察せよ。
 - 注意事項:「犯罪認知件数」とは、「犯罪を警察が認知した件数」のことで、「実際に起こった件数」ではない。
- 解釈の二つの可能性:①実際に犯罪が増えた。②警察が犯罪を認知するようになった。
 - ヒント:1999年、「桶川ストーカー殺人事件」に対する警察庁の通達「犯罪等による被害の未然防止活動の徹底について」。

文章の構成

1) 起: このテーマが重要である理由。

- あなたがこれを選択した理由ではなく、このテーマが社会的に重要であることを主張する。
- 解釈①②のどちらを採用するかを書く。

2) 承: 自分の仮説

- ①を選んだ場合: ①が正しい根拠を示す。
- ②を選んだ場合: ②が正しい根拠を示す。

3) 転: 反対の可能性

- ①を選んだ場合: ②が誤りである根拠を示す。
- ②を選んだ場合: ①が誤りである根拠を示す。

4) 結: 結論

どんなデータがあれば仮説が根拠づけられるか
考えてみよう。

依岡先生の課題

- 以下の課題図書のうち(最低でも)一冊を読むか、以下の読書イベントに参加したうえで、大学時代に実践したいと考える読書の仕方や読書活動を書きなさい。

課題図書

- 井上ひさし『本の運命』文春文庫、2000年
- 長田弘『読書からはじまる』日本放送協会出版、2006年
- 小林秀雄『読書について』中央公論社、2013年
- 齋藤孝『読書力』岩波書店、2002年
- ショーペンハウアー『読書について 他二編』岩波文庫、1983年
- 外山滋比古『読みの整理学』ちくま文庫、2007年
- 平野啓一郎『本の読み方～スローリーディング』PHP新書、2006年
- 茂木健一郎『脳をきたえる読書のしかた。』マガジンハウス、2009年
- 依岡隆児『読書のススメ～四国から、グローバルに』徳島新聞社、2010年

読書イベント

- まちライブラリー : facebook「[まちライブラリー](#)」参照
- まちライブラリーとくしま : facebook「[ビブリオラボとくしま](#)」参照
- 金曜の会 : facebook「[とくしま読書コミュニケーション文化育成プロジェクト](#)」参照

文章の構成

1) 起: なぜその本を読んだか・なぜそのイベントに参加したか

- あなたの興味関心ではなく、その本やイベントが重要である理由を書く。

2) 承: その本やイベントの概要・解釈

- 単に頭から要約するのではなく、自分の意見・主張から見て重要な要素を取り上げる。

3) 転: 反対の解釈

- 自分の意見・主張に対する批判的検討。

4) 結: 自分が実践したい読書

- 単なる「決意表明」でなく、なぜそうすることが重要なのかを根拠づけて説明する。

饗場先生の課題

- 「テロ等準備罪（いわゆる「共謀罪」）」について検討する。
- 文章の構成
 - 1) 起：この課題を取り上げる理由
 - あなたの興味関心でなく、この法案を検討することが社会的に見て重要である理由。
 - 2) 承：法案の概要
 - 法案が準備された経緯・内容についての政府側の説明、パレルモ条約の内容等。
 - 3) 転：法案の問題点
 - 法案に対する野党や有識者による批判。
 - 4) 結：この法案に対するあなたの意見
 - 政府側の言う「必要性」と、批判側の指摘する問題点を比較検討し、結論付ける。

饗場先生の課題

- 「テロ等準備罪（いわゆる「共謀罪」）」について検討する。
- 文章の構成

ウェブ上には思い込みや感情による根拠のない主張が氾濫しているので、一次文献にあたって検討すること。

1) 起: この課題を取り上げる理由

- あなたの興味関心でなく、この法案を検討することが社会的に見て重要である理由。

2) 承: 法案の概要

- 法案が準備された経緯・内容についての政府側の説明、パレルモ条約の内容等。

3) 転: 法案の問題点

- 法案に対する野党や有識者による批判。

4) 結: この法案に対するあなたの意見

- 政府側の言う「必要性」と、批判側の指摘する問題点を比較検討し、結論付ける。

平井先生の課題

- 徳島県など、特定の地域が抱える課題への対応
- 文章の構成

1) 起: 取り上げるべき課題

- 授業等を参考に、その地域が抱えている課題をいくつか提示し、そのなかでこのレポートで取り上げる課題を示す。
- なぜその課題を取り上げるのか、理由を説明する。

2) 承: 課題の説明

- 上記課題について、具体例を挙げながら詳しく説明する。

3) 転: 対応策

- 対応するための手段を検討する。県や市町村がすでに多数の取り組みを行っているので、そうした取り組みに言及し、それらの有効性や問題点を考察する。

4) 結: どのように対応するべきか。

- 上記考察をもとに、そうすべき根拠を明示する。

今日の宿題

- manabaによる授業コメント: **自分を取り組みたいレポート課題の下書き＝現時点での構想やすでに調べたこと、調べなければならないことをまとめる。(「小テスト」が四つあるが、一つ選択)**
- 前回の小テストの解答と解説をウェブで確認。
- 前回(5月26日)の「学生によるコメントと教員の応答」を読んでおく。
- 次回の授業資料(課題発見ゼミ・ガイダンス資料)を印刷して持ってくる。

◆今日は読書レポートの締め切りです。